



にじいろ通信



「遠まわし」のコミュニケーション

気がつけば今年も残すところ 1 ヶ月。残りの今年も元気に過ごしていきましょう。

さて、インターネットで様々な情報を得られるようになった現代では、広告や雑誌等にあるお店からの直接の情報よりも、実際にそれを使った人の「口コミ」を頼りに、行き先や商品等を選ぶ人がたくさんいます。誰かから直接言われたことより、遠まわしで得た情報やうわさ話を信じたくなるこの現象、心理学では「ウィンザー効果」といわれています。

遠まわしに言いたいことが伝わることは、コミュニケーションの場面でも有効なようです。例えば、「お母さん」が、「友達」が、あなたを誉めていたよ、「お父さん」が、「～先生」があなたに申し訳ないと言っていたよなど、「人を誉める」、「人に謝る」場合、誰かを介して間接的に伝わることで直接言われるよりも嬉しさを感じたり、納得できたり、ということはありませんか？

日常生活を振り返ったときにも、「悪口」などに比べ、「良い話」は広がりにくいかもしれませんが、せつかくの効果、「悪い噂話」レベルだけになってしまうのはもったいないですね。どんな家族、集団になっていきたいか、考えながら、この効果を利用することで、家族や学校、職場や部活などさまざまな集団の雰囲気が良くなっていくかもしれません。

たとえ小さなことでも、何気ない会話の中で誰かを「誉める話」や誰かに「謝りたいこと」などを話しながら、「誉めていた話」や「謝りたいと言っていた話」などを聞いたら、ぜひとも本人に伝えていきたいですね。



◇◆◇スクールソーシャルワーカー学校訪問記◇◆◇

あるとき、幼稚園で、一人の女の子が私のネクタイを見て、自分の着ている服と同じ色だ、といって喜んでいました。私が、よく見つけたね、と同調すると、その子はその後、いつも一人で遊んでいることが多い子のところに行行って「同じ色」を見つけ、喜んでいました。同じ色を見つけられた子も、ニコニコと笑顔になり、私も嬉しくなりました。

小さい頃は脳に色々な“枠”や“ルール”などが出来上がっておらず、柔軟に物事を考えることが出来やすいと言われていています。お互いの弁当箱を見て同じキャラクターを見つけて喜ぶなど、子どもが自然に相手との「共通点」に注目し、仲が悪かった相手ともそこから良い関係が生まれることがあります。小さい頃から、いろいろな人やものと関わり、共通点を見つけていくことは、大人になってからのさまざまな人たちと折り合いをつけ、お互いを理解して一緒に生活していくための土台になる、大切な経験の一つなのだなあ、と感じた場面でした。



12月

主な学校巡回予定

勤務予定日：*…五十嵐 ♪…大久保 ※外出…研修、他施設、家庭訪問等
 時間帯： 午前 / 午後 (時間帯は各園、各校調整いたします)

日	月	火	水	木	金	土
				1 *: /外出 ♪: /外出	2 *: /外出 ♪:本宮小 /外出	3
4	5 *: /外出 ♪: /和田幼	6 *: /外出 ♪:まゆみ小 /外出	7 *: /白沢中 ♪: /一中	8 *: /外出 ♪: /外出	9 *: /和田小 ♪: /和田小	10
11	12 *: /二中 ♪: /白岩小	13 *: /岩根小 ♪: /外出	14 *: /糠沢小 ♪: /	15 *: /外出 ♪: /外出	16 *: /第一保 ♪: /	17
18	19 *: /白岩小 ♪: /白岩小	20 *: /岩根小 ♪: /まゆみ小	21 *: /白沢中 ♪: /	22 終業式 *: /外出 ♪: /外出	23	24
25	26 *: /外出 ♪: /外出	27 *: /外出 ♪: /外出	28 *: /外出 ♪: /	29 	30	31

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

連絡先：本宮市教育委員会 幼保学校課（本庁2階）

電話 24-5445（内線1247） / E-mail: ssw@city.motomiya.lg.jp

スクールソーシャルワーカー 五十嵐 敦子・大久保 尚也

